

紫外線表面除菌装置



くりんクリンBox マイク用 GC-64B-MC 取扱説明書

(100V, 50 / 60Hz 共用)

保存用

お買い上げありがとうございました。ご使用前に必ずお読みください。
この説明書は製品をご使用になるお客様に必ずお渡しください。

21年07月07_3

営業本部 / 東京都品川区西五反田 1-13-5 : 03-3492-4460 最新の連絡先はホームページ <http://www.dnlighting.co.jp> をご確認ください。

安全上の注意



警告



- 点灯中のランプは絶対に直接または間接に肉眼で見ないでください。目の痛みや視力障害の原因となります。
- 紫外線(殺菌線)を皮膚に直接または間接にあてないでください。皮膚の炎症や日焼けをおこす原因となります。



- 器具の分解、改造は絶対にしないでください。故障、落下、感電、火災の原因となります。



- ランプ交換、清掃のときは、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 万一、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。



- 紙や布や断熱材などでおったり、燃えやすいものに近づけないでください。故障、火災の原因となります。
- 器具の隙間に金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。
- 器具を造営材などへ埋め込んで使用しないでください。放熱が悪くなり、故障、火災の原因となります。



注意

- 適合ランプ以外は使用しないでください。ランプ落下によるケガ、短寿命、不点灯、火災の原因となります。
- 電源電圧は、AC100V±6V以内で使用してください。ランプの短寿命、不点灯、チラツキ、安定器の故障、火災の原因となります。
- 屋外では使用しないでください。故障、感電、火災の原因となります。
- 湿気や水気のあるところでは使用しないでください。故障、感電、火災の原因となります。
- 清掃の際は、器具に水や薬品がかからないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。
- 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。故障、落下によるケガ、火災の原因となります。
- 引火する危険性の雰囲気(ガスolin、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど)で使用しないでください。火災、爆発の原因となります。
- 腐食性雰囲気のあるところでは使用しないでください。故障、落下の原因となります。
- 粉塵の多いところでは使用しないでください。火災の原因となります。
- 暖房機器、火気の上や近接したところでは使用しないでください。故障、火災の原因となります。

- 過度な荷重をかけないでください。故障、落下の原因となります。
- 器具の温度上昇は収納部の容積や器具と造営材との距離に影響されますので、放熱には十分注意してください。放熱が悪いと、故障、火災の原因となります。
- 誤って落下させた器具は使用しないでください。故障、火災の原因となります。
- 器具の樹脂部分に塗料などを塗らないでください。樹脂部分が劣化し、故障、感電、火災の原因となります。
- 点灯中や消灯後しばらくは、ランプが熱いので絶対に手や肌などを触れないでください。ヤケドの原因となります。
- 取付穴をあけないでください。故障、感電、火災の原因となります。
- ランプの取り付け、取り外しは取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。ランプの落下、火災の原因となります。

ご使用上の注意

- 周囲温度は5℃~35℃の範囲で使用してください。ランプの短寿命、不点灯、チラツキ、安定器の故障の原因となります。
- 点灯および消灯直後にランプからの熱による金属の膨張収縮で、きしみ音が発生する場合がありますが、安全上に問題ありません。
- 性能を維持するために定期的に器具やランプの清掃や点検をしてください。
- 清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水または中性洗剤を湿らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。

- 電源波形に歪みや変動があるときはランプにチラツキを生じたり、器具に若干のうなり(音)を生じる場合があります。
- ラジオやテレビなどの音響および映像機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。雑音が入るときは器具から1m以上離して使用してください。
- 材質によっては紫外線の繰り返し照射により表面劣化や退色することがあります。
- 点灯時にわずかにオゾン臭を伴うことがありますが、人体への影響はありません。

保守・点検

- 殺菌灯器具および関連部品(安定器・ソケット含む)には寿命があります。
- 設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
- ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(JIS C8105-1解説による。)
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。

- 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。(弊社のホームページまたは製品カタログに掲載)
- 3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。
- 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。

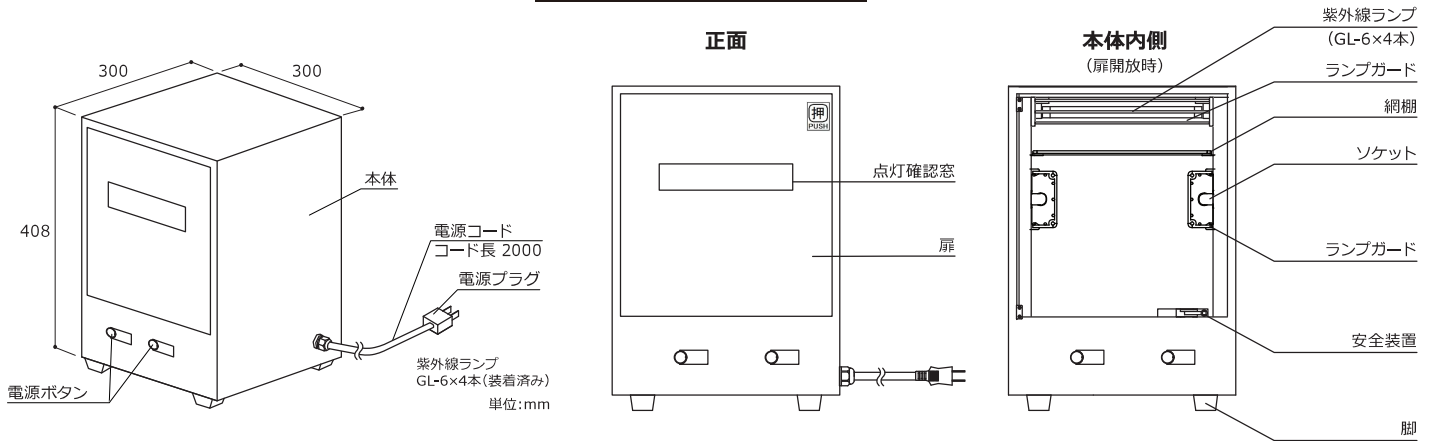
定格

(仕様と定格は予告なく変更することがあります。)

形式	適合ランプ	本体質量(kg)	入力電圧(V)	入力電流(A)	入力電力(W)
GC-64B-MC	GL-6×4	11	100	0.56	27

・周波数50/60Hz共用

各部の名称と外形寸法



使いかた



警告



視力障害・皮膚炎症の原因

- 扉をあけたまま使用しないこと。
(紫外線UV-Cを放射する殺菌ランプ内蔵)
- 装置内をのぞかないこと。
- 光を皮膚に当てないこと。

1. 設置場所の確認



警告



本体を移動するときはコードを引っ張らないよう電源プラグを抜く(感電・火災の原因)

本体に熱がこもることを防ぐため、右記の距離を目安にお使いください。

2. 本体の設置



警告



脚部に電源コードを挟まない(感電・火災の原因)

平らな面に本体を置いてください。

3. 電源プラグをコンセントに接続

電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。



警告



電源コードはたばねて使用しない(火災の原因)



警告



電源プラグを抜く際はプラグを持って抜く(感電の原因)

4. 運転を開始する

扉の開閉は **押** を押して行ってください。

除菌を行う対象物を庫内に入れ、扉を閉じてください。電源ボタンを押すと、紫外線ランプが点灯します。

紫外線ランプの点灯確認は、点灯確認窓※で行ってください。
※紫外線カットガラス使用

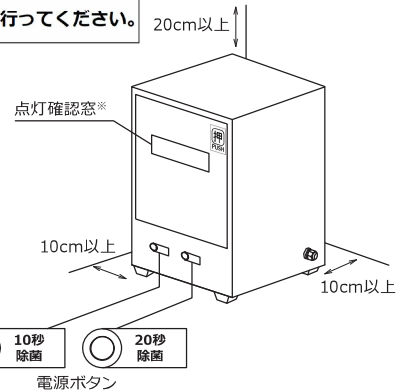
紫外線ランプが点灯しない場合、下記を確認してください。

- ランプがソケットに確実に取り付けられていますか?
- 扉が完全に閉じていますか?
(扉が完全に閉じていない場合、安全装置が作動し紫外線ランプが点灯しません)

電源ボタンによって、点灯をする時間が変わります。

- 『10秒除菌』ボタン → 10秒間点灯
- 『20秒除菌』ボタン → 20秒間点灯

上記点灯の間、光が当たっている部分の除菌を行います。



除菌を行う対象物の例

対象物	例
衛生用品類	マスク・ゴーグル・手袋 など
機器類	スマートフォン・リモコン など
調理器具・食器類	はし・コップ・皿・スプーン など
文具類	ボールペン・鉛筆・定規 など
カード、紙類	本・書類・紙幣 など
その他	めがね・マイク など

ご使用上の注意

● 材質によっては紫外線の繰り返し照射により表面劣化や退色することがあります。

※濡れたままのご使用はしないでください。

※本製品は、医療機器ではありませんので、医療器具、治療器具、用具類の滅菌・殺菌にはご使用になれません。

※理容用器具の消毒には、ご使用になれません。

※特にシリコンゴム、プラスチックなどの樹脂類への連続照射は、表面劣化、変色の原因となりますのでご注意ください。

紫外線ランプの交換方法



警告

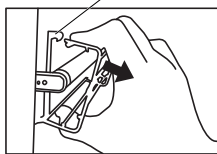
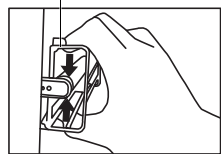


ランプ交換の際は電源を必ず切り、電源プラグを抜く(感電の原因)

1. ランプガードを取り外す

ランプガード

フック



①上図のように、ランプガードを手でつまみ、矢印の方向へ力を加えてください。

②矢印の方向へ引き、保持されているフックから、ランプガードを取り外します。

2. ランプを交換する

①ランプを取り外す

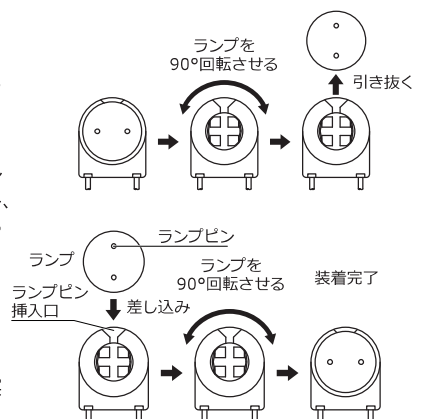
ランプを90°回転させ、両端のソケットから同時にまっすぐ手前に引き抜いてください。

②新しいランプを取り付ける

ソケットのランプピン挿入口に紫外線ランプのランプピンを両端とも確実に差し込み、ランプを90°回転させ、カチッと音がすることを確認してください。
(交換用殺菌ランプ: GL-6)

3. ランプガードを取り付ける

ランプガードを手でつまみ、フックへ確実に取り付けてください。



紫外線ランプの廃棄について

廃棄物の処理及び、清掃に関する法律では、家庭から排出される紫外線ランプは一般廃棄物、事業所等から排出されるものは産業廃棄物に分類されます。一般廃棄物は各自自治体が、産業廃棄物は排出事業者自らが処理することになっています。

紫外線ランプには水銀が含まれるため安易に廃棄せず、自治体又は専門の処理事業者へ、適正な処理を依頼することをお勧めします。